

せつぶん 節分について知ろう

2月2日(火)

<今日の献立>

- ごはん
- けんちん汁じる
- いわしのかば焼きや
- にんじんのきんぴら
- せつぶんまめせつぶんまめ
- ぎゅうにゅうぎゅうにゅう

せつぶん

節分とは・・・

2月2日は節分です。「節分」とは、「季節の区切り目」ということで、もともとは一年に4回ありました。立春(2月始めごろ)、立夏(5月始めごろ)、立秋(8月始めごろ)、立冬(11月始めごろ)の前まえの日がすべて節分でした。今では、立春の前日だけを指すものとなりました。

せつぶん

節分にこめられた思い

節分には、「鬼は外、福は内」と声をかけながら豆をまきます。昔むかしの人は、病気びょうきや火事かじ・地震じしんなどのわざわいを鬼おにがもってくると信じていました。豆まめをまいて鬼が家の中なかに入って来こないようにすると、家族が健康けんこうで悪いことわるが起おこらないと考かんがえたのです。

また、鬼おにがいやがって家いえに入はいってこないように、柊ひいらぎの枝えだに焼やいたイワシの頭あたまをさして、家の入口いへにつるしておくという地方ちほうもあります。



今日きょうの給食きゅうしょくは、「節分せつぶん」にちなんで、「いわしのかば焼き」と「節分豆せつぶんまめ」です。みなさんも、鬼おにを追おい払い、健康けんこうに過すごしましょう。

